

環境マネジメントシステム

- 企業情報 → CSR活動 → 環境マネジメントシステム <http://www.tdk.co.jp/csr/csr03300.htm>
- 企業情報 → CSR活動 → 環境リスク管理 <http://www.tdk.co.jp/csr/csr03400.htm>
- 企業情報 → CSR活動 → 環境負荷の概要 <http://www.tdk.co.jp/csr/csr03500.htm>

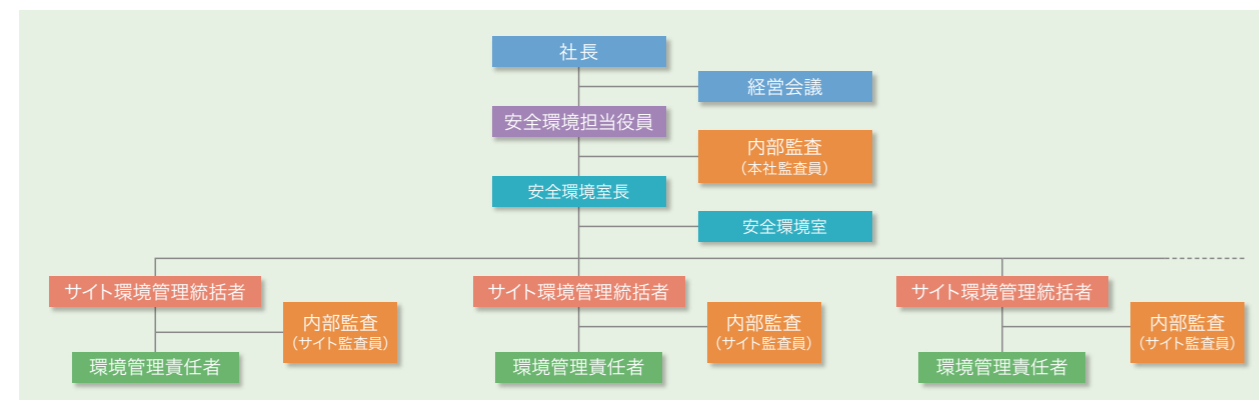
環境マネジメント体制

当社は、社長を頂点とする全社統一の環境マネジメントシステム(EMS)に基づく推進体制を確立しています。この全社体制の確立で、従来のサイト単位での環境保全活動だけでなく、多様化・複雑化・グローバル化する環境問題にも迅速かつ効果的な対応ができます。また、サイト主体の環境マネジメント体制でカバーすることが難しい製品の環境配慮については、関連本社機能が全社組織を編成し、事業部門を統括しています。これにより、「買う」「作る」「売る」のビジネス・プロセスをマネジメントする体制を確立しています。

環境マネジメントシステムの運用

当社は、2005年度に日本国内全拠点で運用していた環境マネジメントシステム(EMS)を全社統一システムへ切り替え、体系的な運用と環境活動の方向性をより明確にしました。日本以外の拠点につきましても、2007年度までにISO14001*の認証を全拠点で取得しました。さらに、各地域の環境情勢にあった活動が展開できるよう、日本、中国、アセアン地区、ヨーロッパ、アメリカと地域別に環境会議を開催し、全社の共通目標である「TDK環境活動2015」の達成に向けた活動を実施しています。

体制図



* ISO14001 : EMSに関する国際規格 (IS)
 * ISO14001 認証取得事業所はWEBをご覧ください。
<http://www.tdk.co.jp/csr/csr05200.htm>

環境マネジメントの評価制度と表彰制度

当社では、環境マネジメントの評価制度をグローバルで展開し、環境活動のパフォーマンス向上および環境マネジメントシステムの改善を図っています。環境マネジメント評価は、環境意識の高揚を目的とし、毎年各拠点で推進する環境活動目標の立案と実績に対し、活動項目ごとに実施しています。

また、評価で優れた成績を収めた拠点に対し表彰をする、環境表彰制度を導入しました。これは、環境マネジメント評価の結果による表彰だけでなく、全社的に模範となる環境活動を推進した組織や個人に対しても表彰しています。

2009年度に表彰された拠点と表彰内容

拠点名	表彰内容(主な施策)
浅間テクノ工場	社内一丸となり、自主的な中長期計画に基づく省エネ活動で大きな成果をあげた。
TDK(Thailand) Co., Ltd.	排水処理方法の見直しにより、廃液を社内処理可能となり、社外排出物を大幅に削減した。
SAE Magnetics (H.K.) Ltd.	製造工法の見直しにより、溶剤使用量を大幅に削減した。

環境リスク管理

土壌汚染、VOCリスクの管理

当社では、土壌汚染およびVOC*に関する環境リスクの評価基準と管理手法を確立し、各サイトのリスク評価を定期的に行っています。リスクの高い個所については、優先順位を明確にして、予防保全、修復等の対策を実施することで、効果的な環境リスク管理につなげています。

* VOC (Volatile Organic Compounds) : 揮発性有機化合物
 * 土壌修復実績は、WEBをご覧ください。
<http://www.tdk.co.jp/csr/csr05300.htm>

VOC排出量の削減

当社では、「TDK環境活動2015」の中でVOCの大気への放出量削減をテーマとして取り上げ、2000年度を基準として2010年度までに排出量を30%削減することを目標としています。主な施策は、有機溶剤の使用量削減、溶剤回収装置および溶剤燃焼装置の導入などです。2009年度のVOC大気放出量は2000年度比67%削減となり、2010年度までの中期計画目標値を前倒して達成しました。

PCBの適正処理に向けた保管・管理

当社では、電力用コンデンサ77台、トランス3台、蛍光灯安定器175台を、廃棄物処理法*に準拠して保管・管理をしています。PCB廃棄物処理が本格化するのを受け、適正処分にに向けて、処分登録をすべて完了しています。

* 廃棄物の処理および清掃に関する法律

法規制の遵守および事故

当社では、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などを未然に防止するため、法規制遵守はもとより、項目によっては法規制値よりもさらに厳しい自主基準を設け、環境負荷の低減と未然防止に努めています。2009年度は、残念ながら法規制値の基準値超過が1件、重油の漏出事故が1件ありましたが、行政報告のうえ速やかに対応しました。

環境負荷の概要

環境影響評価と統合指標の検討

当社では、事業活動が環境に与える影響を定量化する環境影響評価を行っています。この評価結果は、環境活動の活動項目および目標の設定に活用していますが、これをさらに効果的なものにするため、環境負荷をCO₂換算で統合した統合指標についても検討しています。



* データの集計範囲
 PRTR対象物質、用水、排水、SO_x、NO_x、ばいじん : 日本
 その他 : グローバル